

# 平成30年度 事業計画

## 1. はじめに

当振興会では皆様のご支援により、平成29年度も引き続き「公益財団法人」として、物流博物館の運営に力を注いでまいりました。

同館においては、平成29年度は特別展を開催し、これにともない広報活動を積極的に展開し、新規入館者の開拓に力を入れてまいりました。また、近年増加傾向にある物流関係企業の内定者・新人研修での館利用、小学生のほか、中高生など青少年の館利用にも積極的に取り組んでまいりました。

開館から20年が経過する平成30年度には、将来的なリニューアルについての展望を踏まえ、単年度中に可能な範囲での展示替えや修正、機器の更新等を行うとともに、館内整理・所蔵する各種資料の整理を推進し、一層充実した運営に取り組んでまいります。

## 2. 平成30年度の事業計画について

### A. 重点推進項目

次の各項目を重点推進項目として取り組みます。

- (1) 企画展「トレーラーと牽引車（仮題）」の開催と常設展示の改良・催事の実施
- (2) 一般入館者および団体見学増に向けた広報活動の強化
- (3) 収蔵資料の整理・データ化の推進
- (4) 常設展示リニューアルの計画立案、一部実施
- (5) 建築・設備の老朽化に伴う補修・機器交換に関する中期計画の立案、スケジュール化
- (6) 運営資金の確保

### B. 具体的な活動について

#### (1) 企画展の開催実施と常設展示の改良・催事の実施

平成30年度は日常的な来館者の満足度を向上させることを重点課題とし、展示については企画展の開催を行うとともに、陳腐化が進んでいる常設展示の修正に力を入れ、また可能な範囲で機器類の更新を実施します。また、開館20周年を記念し、8月11日の開館日には記念イベントを実施します。

更に、例年と同様、こども向け映画会(12月)や古文書講座初級編(5月～7月)、古文書講座(中級編)(10月～12月)、夏休み行事(美術品梱包講座、ダンボール工作コーナー)などを実施するほか、日本通運(株)が過去に製作し平成20年及び平成26年度より29年度にかけて修復を行った映画の上映会を続けて開催するとともに、諸行事を頻繁に実施・情報発信することにより、コンスタントな来館者増を目指します。また、常設展示の見学を学校関係や地域・学術団体、企業関係先などに幅広く広報し、これらにより新規来館者の開拓、リピーターの招致に努めます。

以上の活動を通じ、広く一般に親しまれる博物館としての取り組みをさらに進めてまいります。

## **(2) 一般入館者および団体見学増に向けた広報活動の強化**

一般紙誌、業界紙誌、タウン紙、旅行関係書、WEBサイト、テレビ、ラジオ等で頻度高く紹介されるよう情報発信に努めることで館の活動の周知を図り、さらに博物館連携団体や物流業界団体・学術団体などとのタイアップにも取り組みます。また催事数の増加により日常的な集客をめざすとともに、団体見学の誘致に努めます。

とくに修学旅行・社会科見学を始めとする小中学校団体見学の増加をめざし、また、内定者・新人研修をはじめとした企業研修の誘致ならびにリピーター確保にはさらに力を入れ、今年度も引き続き周知活動に取り組みます。

更に、ウェブサイトのリニューアルを行い利便性の向上を図るとともに、新規の来館者の増加をめざします。

## **(3) 収蔵資料の整理・データ化の推進**

収集後、未整理となっている収蔵資料について引き続き計画的に整理作業を実施します。

## **(4) 常設展示リニューアルの計画立案、一部実施**

将来的な常設展示リニューアルについての計画案の検討を行います。

## **(5) 建築・設備の老朽化に伴う補修・機器交換に関する中期計画の立案、スケジュール化**

開館以来、補修・交換を行っていない物流博物館建物本体・配管等の補修、および空調機器などの設備機器の交換等について、具体的な計画立案を行います。

## **(6) 運営資金の確保**

効率運営の徹底による費用節約に努めるとともに、より充実した事業活動を遂行できるよう運営資金の確保に努めます。

博物館関連事業の活発化による事業収入増を図ると同時に、物流博物館等維持会各社への情報発信と緊密化に努める中で寄附金収入の確保に努めます。

## **C. その他**

平成29年度実施の特別展「飛脚問屋・嶋屋佐右衛門日記の世界」にて紹介した、江戸時代の飛脚問屋の実態を示す貴重な日記史料を翻刻し解説を付した資料集の刊行を行います。

以上の他、当財団定款に則り、必要と認める事項に随時取り組みます。

以 上